

0.9mm が違いを生みます!

#LSSA [엘싸]

臨床ガイド オスミドロワ

[ニューポン
ホームページ](#)

ニューポンは健康で美しい生活の波を起こすことです。

2021.05.12
V1.0

コンテンツ

01 LSSA - OSMI

- キーワード

02 手順

- デザイン
- 潜入
- LSSA 脳卒中
- 願望

03 ヒント

- 要点
- 質疑応答
- 準備
- アフターケア

01 LSSA - 臭汗症

DEEP
SONO™
LAB

臭覚異常

臭気症の主な問題は、アンモニアと脂肪による臭いです。
真皮層の下のアポクリン腺にある酸。

伝統的な切り傷や削り傷の方法は傷跡が多く、
出血と痛みがあり、回復には長い期間が必要です。

LSSAは、このシンプルで短時間の手術を小さな
切開。再発率は低い。同等である。
伝統的な方法。



臭覚異常 - キーワード

より簡単に

局所麻酔による短時間の手術

非常に表面的な層への容易なアプローチ

切開部位が小さい場合は可能

より安全

皮膚やその他の組織へのダメージがほとんどないか全くない

副作用の最小化（漿液腫、線維性バンド、皮膚退縮）

もっと早く

迅速な手術

迅速な回復

オスミドロシス - デザイン

安全なストロークのために余裕を持たせます。

臭汗症 - 浸潤

注射器を使用して、各領域の表層に50～150ccを浸透させます。

オスミドロシス - LSSA 脳卒中

2.9mmのプロープでごく浅くストロークします。

エンドポイントはプロープの移動に抵抗がなくなることで、通常はそれぞれ10分かかります。

紅斑がほとんど出なくなるまで十分に撫でてください。

切開部位の火傷を防ぐために、湿らせたガーゼと生理食塩水を塗布します。(図2)



図1 表層



図2 生理食塩水の拡散

臭汗症 - 誤嚥

マッサージまたは圧迫する（図3.1および図3.2）

マイクロカニューレを表層に使用します。

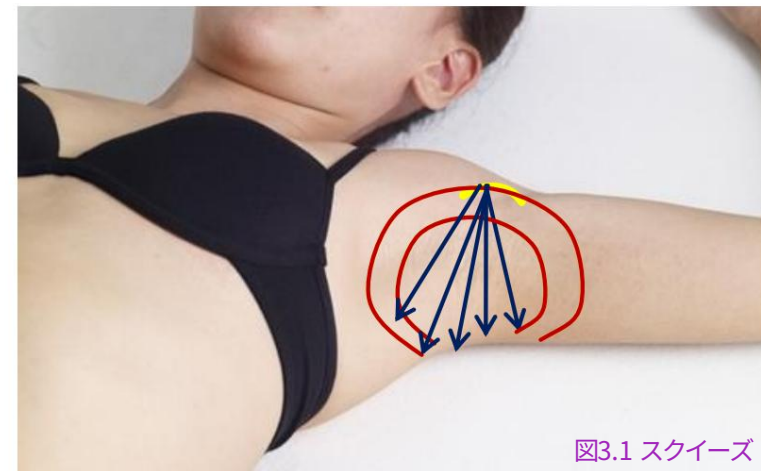


図3.1 スクイーズ

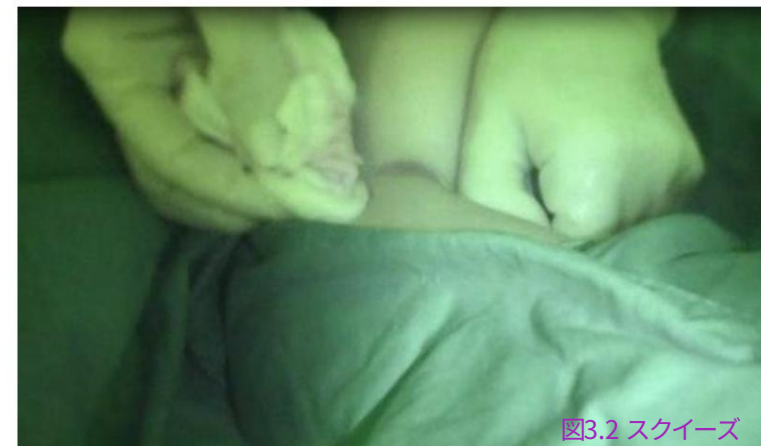


図3.2 スクイーズ

臭覚異常 - 重要なポイント

ごく浅いストロークが最も重要です。

撫でる感覚は皮膚を引っ掻く感覚に似ています。しかし、トンネルを掘ったり、皮膚を貫通します。図(4)

紅斑がほとんど出なくなるまでLSSAを十分に塗布します。



図4 スクイーズ

臭覚異常 – Q&A

Q: LSSAは臭汗症に効果がありますか？

A: アポクリン腺は脂肪と似た構造をしています。そのため、この手術では LSSA が非常に効果的かつ効率的です。

Q: Q: 腕に注入する腫脹液の量はどれくらいですか？

A: 患者様によりませんが、1箇所あたり150～200cc程度必要です。

Q: 出血や痛みはどうですか？

A: LSSAは局所麻酔が可能な程度に痛みと出血を軽減します。

Q: 時間を使った LSSA はどうですか？

A: LSSA プローブのストロークの抵抗がなくなるまで、ごく表面的に行います。通常、各領域には数分かかります。

Q: LSSA後、吸引ストロークはどうなりますか？

A: 患者に悪臭がある場合、LSSA でアポクリン腺を破壊した後、表面的に吸引ストロークを積極的に行う必要があります。しかし、過度に積極的なストロークは出血と痛みを多く引き起こします。

臭覚障害 - 準備

コモンズ	浸潤	願望
腫れの解決策	2.0mm x 25cm 浸潤カニューレとハンドル	2.5mm吸引カニューレとハンドル
縫合糸セットとNo.11ブレード	50ccシリンジ (ルアーロック)	3.0mm吸引カニューレとハンドル
26G針	50ccシリンジ (浣腸用シリンジ)	4.0mm吸引カニューレとハンドル
4 x 4 ガーゼ	浸透ポンプ (ホースとハンドル)	吸引ポンプホースとハンドル
10cc, 20cc ルアーロックシリンジ		
消毒剤とドレープ		

臭汗症 – アフターケア

手術後すぐに弾性バンドを使用してください。

ドレーンは非常に重要です。(誤嚥が大きい場合には遅延縫合が使用されることがあります。)

約1週間後、縫合糸を抜くことができます。

手術後1週間から約4週間、10MHzの超音波装置(ソノケア)を使用して週2回投与することで、リンパの循環と瘢痕の予防に役立ちます。

手術後は十分な水分を摂ってください

浮腫を軽減するために、手術後は簡単な散歩や運動を推奨します。

ありがとうございます。